夕刊
磐城新聞
三月二十八日發行
發行所 磐城新聞社
（日曜祭日翌日休刊）

小學生の作文から

島田忠夫 抄

內鮮一體

尋六 黑瀨徹

ぴゆうぴゆう。ともすといふなりをたてゝ耳もとを過ぎる風は耳をちぎり鼻をちぎつてしまふ位。顔の皮がかたくこはばつてコンクリートとのやうだ。空には一ぱいに密雲が垂れこめて又雪が降るのではないかと思はれた。所々に殘雪が殘つてゐる。

今神社へお參りしてその歸る途中だ。道もこほつてかん／＼いふ。横にはさゝかな鮮人の家が立並んでゐる。その一軒から一人の鮮人の子供が出て來た。目がくりくりし、可愛い。四五歳位であらうか。此の寒いのに二枚位しか着てゐない。しかも眞黑な穴のあいたものをきちうして靴といへばあなだらけで見るからにかあいさうだ。顔は黑ダイヤのやうに洗はないからであらうか。黑光りをしてゐる。手に持つたゝこをあげはじめた。僕は此の子供の行動に興味をもつて足を止めた。糸といへばわつかにボール紙に卷いてあり三米もあらうか。どうもよくあがらない。少し考へたらしく後にたふしてぐいと引いた。とたんにふいて來た烈風にたこは上つた、耳がちぎれるやうな冷さに我にかへつた。もうかへらうと思つて歩き出さうとした瞬間。又もい烈風にたこはひつくりかへつて電線にかゝつた。その時其の子供の困つた顔。僕は內地人として此の鮮人の困つたのを救はねばならないといふ心と同情の念が湧出した。僕は、耳のつめたさも忘れて言つた「そこ引つばれ」しかしぐるぐる廻つてゐるので引くことができない「かせ」といはうと思つたが言葉が通じないだらうかと思ひ手まねでいつた。子供は僕を信じてくれたのだらう。だまつて僕を見てゐる。突然たこがぐるりと又まはつて一そうひどくかゝみついた「しまつた」こうからみついては僕の責任だ。もうはづれないかもしれない。風はますます強い。このまゝ止めたらその心にすまない又僕一人のため內地人は信用出來ないと思はれるのは絶對に自分がゆるさない。僕は神さまにどうかはづるやうに祈つた。

其の心が天に通じたのか思ひがけなくも折からの烈風にはづれた。其の時の嬉しさは何ともいへぬものだつた。又其の子供の嬉し顔さうして其の子供は「有難う」とはつきり日本語でいつた。其の時僕はなんともいへぬ嬉しさを感じた。此の幼い子供の胸にも內地人の心がわかつてくれゝるのかと。さうしてお互に後立派な皇國臣民となつて陛下の御爲に命を捨しよう。

『くろがね』から

春淺し　渡邊何鳴

○しらじらと雪がつぐごと咲きこぞる馬醉木の花を見つゝわがゆく

○わが家の庭にはつ／＼咲きそめし老樹の梅を見つゝあかなく

○あかときの雨あたゝかく庭べの沈丁しるき香をぞたゞよふ

いまはとほくさかり住めるともをおもひて

○ましろにぞ咲ける辛夷にたゞすめりきみありし日のおもひはるけく

○しみじみときみを語りしかの丘のかの芝原は青みそめたり

その日／＼

3月29日

△平野國臣生る（文政一一）△八百屋お七刑死す年一六（天和三）△戸籍法を定む（明治二）△武寧占領（昭和一四）

○

理解を伴はざる愛は自他を害ふ　菊池寛

講談 夜嵐お絹（31）

悟道軒圓玉
齋井直衛 繪

敷地

おきぬの春月院は箱根宮ノ下の奈良屋と申す有名な旅館に滯在して靜養する附添ふ者は醫師の黑澤玄達に女中のおさよ、時しも晩春、鶯の垣もさびがついて山櫻も一日一日に枝を辭し垣に咲き亂れる八重山吹、實に好い季節でこれから二タ月も經つと箱根には浴客も押寄せるが此頃が靜養するには尤も適してゐる、現代は養生するために温泉に行くも、養生にはならぬ、土日曜日は安直なインテリ階級が押し寄せて山猫と巫山戯るこゝでは到底靜養する事は出來ない、今の温泉場は歡樂場の化けものだ。

春月院の箱根に行つた頃江戸の末期であれとまだ石鹸と安香水の匂ひも湯壺に漂はぬから、ゆつくり靜養が出來る、燃し湯に入つて藥ばかり服んでるにもならず徒然を慰める爲に琴を彈じそれで鬱を晴らす、春月院三味線も素人の域を脫してゐる、又琴は尤も意得、日本の樂器では琴は上品です、あれを聽いてゐると眠くなる生きなは睡眠劑、今日も上方唄の雪を彈いてゐると下座敷でこれに合せて横笛を奏でてゐる者がある

「さよや、わたしの彈く琴に合はせて笛の音が聞えるが、誰が合はせて居るかの」

「さやうでございますネ、弦に泊つてお在なさるお客樣でございませう、女中に聞いて見ませう」

と云つてゐる所へ女中が來て、

「只今お風呂が空いて居ります、お召しあそばせ」

それを聞いておさよが、

「春月院樣、お風呂をお召し遊ばせ、アノ女中衆、この下座敷で笛を吹いてゐるお客であるが、あれは何者だね」

「ハイ、紀角さんでございます」

「オヤ／＼紀角さん、三曲で雨乞ひをした俳諧の宗匠で」

その時おきぬが、

「おさよ何を云ふんだね、そのきかくとは違ひますよ、女中衆きかくと云ふ人は江戸から來たお客かえ」

「ハイ、本町の藥種問屋紀伊國屋さんの若旦那で角太郎さんと仰しやります」

「それで紀角さんと云ふかの、お一人かえ」

「え、瓢輕な面白いお方で、お供をなさいまして此の月の初めから御滯在でございます」

「オヤさう、江戸の人と聞くと懷かしい、たさま、それでは風呂へ行きませう」

春月院は浴衣と着換へておさよを伴れて風呂場に行て其時に長い廊下を向ふから來たは年頃二十四五になる色白の好男子、浴衣の上に唐桟に黑八丈の細襟のかくつた半纒を引掛け四十四五になる色の淺黑いこれも浴衣を着た男と話しながら來たが、春月院とおさよを見ると輕く會釋して過ぎ行くそれを見送るおさよ、

「春月院樣、あの方が紀角さんでございませう」

「然うかねね、綺麗な人だね」

と云つた、これ風呂からに入らう、おさよの云つた通り廊下で合つた其人は本町一丁目の藥種商紀伊國屋の若主人角太郎附添ひの者は出入りの貸本屋の番兵衛、

「若旦那今廊下でお合ひになりましたあの御後室は半四郎の顔世御前のやうでございますネ」

と云つたがその當時名優に美貌を以て知られた岩井半四郎の舞台姿其儘、角太郎はニヤリと笑ひ

「好い女だナ、それに上品だネ」

「左樣でござんす、上品な内に粋なところがあります、これに依つて拙の判斷に依ると、あれは江戸ッ子でございます、昨日風呂場であの御後室の身の上を調査ましたが大久保樣のお妾で、殿樣が歿つたについて今は後室となつて菩提を弔つて居るとの事ですが、美しい髮の毛を眞ン中からズバリと切つて半分殘して置いたところた因るとまだ色氣がありますナ、」

山柳子曰く

「惚れられるだけは殘して後家の髮」旨いことを云ひましたナ、女は後家になると美しく見えますね、アー我の娘アも早く後家にしたい」

と云つた。

建築木材ノ御用命ハ
建築木材一式 銘木・ベニヤ板 秋田產・杉四分板 建具材・便利瓦
織田材木商店
磐城平市 電話平四六〇番
製材工場 赤井村大作場 電話二三五番

御婚禮着付
和洋結髮
パーマネント・ウエーブ
貸衣裳、貸かつらを御利用下さい
何卒御用命の程を
手塚美容院
平市新田町
（徒弟入用）

外科、內臟外科 エツキス光線科
入院隨意
平市田町
院長 安齊徹
安齊醫院
電話 四七五番

ヒナ人形賣出し
皇紀二千六百年の榮ゆあるひな祭り、いとしい御子樣の御幸福を祈りませう。
最新ヒナ人形。御道具類陳列致しました
どうぞ御來店を……
平三町目
金太郎玩具店

登錄商標
家傳良藥 ゆでくすり
ムテキ
一袋三十錢 二袋五十錢 五袋一圓
切瘡洗滌等ノ苦痛ナク快癒スル理想的家庭療法藥ナリ
主治效能
ゆびはれ、きりきず、りんびやう、ばいどくやけど、ちゝはれ、くさかさ
○毒ウミヲ吸出ス事ナリ
○凡そ膿を持つ疾患にお惱みの方に御試し下さい
製劑本舖 宮城縣 ムテキ商會
代理店 平市古鍛冶町十番地（縣社下）
阿康藥局
電話四十四番 振替東京三〇〇六五番
各有名藥店ニアリ

ヒナ人形
可愛い〻子さまの御幸福を祈り紀元二千六百年を紀念してヒナ祭を致しませう
舞踊人形　ヒナ人形
木目込人形　ﾋﾅ道具類
陳列致しました。ぜひ買求めの際は
スガノヤ提灯店
四丁目 電話九五番

故障の起らぬ AKE
原口のラヂオ
原口無線電機株式會社代理店
古山電氣商會
平市二丁目（警察署通り）
電話（呼出）166

創始
室內用竹レール
高尚優美 無音低廉 防中防腐製品
國華竹レール
一番美レイ一番打付ケヨイ音セヌ
實用新案 第二一四二八八號 九三六四七
京都府園部町 國華竹レール
第一工場
全綾部 全第二工場
全宮津町 全第三工場
東北六縣一手特約店
合資會社 平銅鐵機械商會
代表者 井尻雅國
國華竹レール部
一縣一市御特約店ヲ契約
一縣一町一村ニ小賣店特約店ヲ望ム
詳細ハ拙社御照會ニヨリ社員見本持參御相談ニ可應候

メガネ專門の店
メガネは絕對信用ある當店に先づ御相談下さら…………
平市本町二丁目 玉屋

平みやげ
磐城平の名所地が
一目でわかる
米屋の名物最中
風味自まんの米屋の最中
平驛前通り
米屋最中專門店

外科一般
內臟外科
肛門病科
皮徽科 專門
泌尿生殖器科（婦人科性病科）
（入院隨意）
平市字鍛田町
白土醫院
電二七九
看護婦及見習看護婦募集

鑑定項目
名前の一てみの代一運命
何でんもかわる……
體力 疾病 肉体（健康、不健康、相貌）（病根病勢、病名）に關する一切
活動 職業 天運（適業、不適業）（天運、成功、不成功炎厄）に關する一切
血緣 家族運 男女緣（父母の緣、夫婦の緣 子供の緣）有無（氣質、相性、相剋、婚期方位に關する一切
銀行、會社名、商號、家號、會名、雅號、藝名、養子、養女、姓名、生兒名
日本姓名學會東北支部長
鵜沼孝昌
平市紺屋町三六

音ガ生命
ビクターラヂオ
5R15 ¥125
テレビアン
ナショナル
ビクター
代理店
富永ラヂオ店
［電 四九六］

これは便利！
△手を荒さず
△絹、毛織物、木綿、スフの生地を傷めず
△つけておくだけで洗へる
㊮マルミ粉末石鹼
製造元 平市材木町二

苦闘の成果を秘めて けふ入學考査全く終る
氣が揉める茲一兩日

去る二十五日以來、師、弟、父兄三位一体の息詰まる緊張を見せた磐中、磐女、平商の市内三中等學校の入學考査は、けふ磐中の体力と磐女の体格檢査を最後として其の終止符が打たれた。

思へば前後四日の短からぬ時間を、さながら頑童の手中に動悸の早鐘を高鳴らす小雀の樣な悩々した心地で、思ひ設けぬ出題の口頭試問に、全力を傾けて尚ほ及ばぬ体力の檢査に、冷嚴な大試練の稜角に血みどろな死闘を續けねばならなかつた可憐な受難群と、世にも傷ましい之の光景に骨身を削る苦勞を分け合つた附添ひの引率教員乃至父兄母姉の心遣りと、何れ胸ふたがる思ひならぬはなく、試驗に關係を持たぬ者益々惻々として涙を唆られる程である。而もいたいけな千五百兒童が生來初めて味はつたこの忍苦が果してよく酬はるるかどうか、所詮否や應なしに三校を通じて實に九百餘名の落伍者を出さずには濟まぬ宿命に、誰れ難い悲愁の幾場面かゞ展開さるることであらう。見ごとゴールインした六百五十の輝かしい微笑の反面にはまた來ん春を待たねばならぬ千近い悲歎がある。何たる極端な明暗兩相ぞ。試驗は了つた。中二日を置いて磐中、商業は三十日、磐女は三十一日に合格者が發表さるる

口頭試問 挿話
奇想天外の答へに係の先生ギヤフン

地方から遠征の何名かも參加した某中等學校入學考査の口頭試問に『何處にもある品で三本足のもの』なる謎々めいた問題に、大ていは五德＝三德と云つた答へが多かつた中に勇敢にも言下に『爺、婆』と答へたのがあつたので、そのわけを聞くと之亦間髪を容れず『爺、婆は杖をつくから三本足になるんだ』と奇想天外の即答に流石强心臓の先生も暫し呆然自失の態であつたと

縣電氣協會總會
櫻咲き初む來月十二日 平市で開催決定

縣電氣協會第三十五回通常總會は例年松ケ岡に櫻のトップを切る頃の來十二日をトし市公會堂に於て午後一時議事、打合、協議、二時從業員表彰式、三時從業員職務者慰靈祭の順序で開催、四時より松ケ岡公園及び磐城炭礦火力發電所を二班に分れ見學、終つて六時から公會堂日本間に於て懇親會を開くと、來ん花季に於ける催しの皮切りである

警防團長會議 平署

管内警防團長會議を來月二日午前十時から同署會議室に開き近づいた縣下大會の準備打合せをなす

篤志者表彰

勿來町金成正二、坂本淺次郎、橋田定好、齋天日信次郎四氏は日赤本縣支部へ事業資金二百圓を寄附、橋本知事から表彰された

身代り献金 四倉吉田氏の義擧

四倉町字新町海産物商吉田彌十郎氏は自家に四人の軍籍關係あるに拘らず一人も前線のお役に立てぬが殘念と此程四倉署を經て金五百圓を國防献金した

公益質屋休日增加

市公益質屋の休日は從來一月一日から三日間と毎月十日、二十五日だつたがこんどこれに大祭祝日が加へられた

大陸進出の先驅 太田文雄氏に新天地
炭礦製鑛 兩大會社長就任決定

先年來北支太原を中心に大陸進出のパイオニアとして多數の所屬職員從業員を督し作ら目ざましい活動を續けてゐた前入山採炭本社理事太田文雄氏は興中公司山西炭礦籌備所長及び興中公司山西製鐵籌備所次長として創業上の施設計劃宜しきに適し、今や着々飛躍時代に入らんとして此程前記兩籌備所が石炭と鑛物とを各別に資本金數千萬圓の大資本を擁する大會社に改組するの機運に到達近くその創立と同共に氏はその社長に就任し大倉鑛業取締役北支代表として縱横の快腕を發揮する外、之亦近く創設さるゝ大倉、三井、三菱、貝島等の共同出資による石炭共同販賣會社の重役として新興燃料王國に重大なるポストを約束されてゐるなど大馬空を往く各底に發剌果敢なる同氏の前に展開された新天地は豫め方面の期待を鍾むるに充分なるものがあると取り沙汰されてゐる

タイヤーの闇取引檢擧

市内田町サーヴイス自轉車御商鈴木淸音(四八)は昨年十月頃から今月までダイヤー一本當りを公定價格より一圓乃至一圓五十錢高く都合四圓百圓の不當利益を得たこと發覺平署に檢擧されたがタイヤーの闇取引檢擧は縣下でこれがはじめてである

運賃を誤魔化す
惡運轉手檢擧さる

草野村大字下神谷生れ自動車運轉手新妻久太郎(三五)は去る十一年四月下旬放火罪で懲役四年の處刑を受け昨年十月宮城刑務所を出で本年一月から四倉町自動車業新妻政男方に雇はれ中、日々の運賃から百數十圓を横領費消した事發覺目下四倉署で取調べ中である

大平市—建設交涉委員選任
けふ市會で協議

平市會は二十八日午前十時招集工業學校敷地の一部たる土地交換を松本議員の動議で參事會一任とした外諸議案を一瀉千里に可決、隣接村合併は神谷、飯野を全村、赤井は南赤井、好間は川中子、今新田、愛谷、内郷は御台境、小島、御厩の各部落目標に文交することゝし、左記委員をあげた

(赤井)松崎、多田井、鈴木庫、鈴木庄、吉田五(好間)吉村安、矢吹龜、酒井、永山、高橋(内郷)大嶺、金古、吉田寅、鈴木彌、川崎(神谷)荒川、矢吹初、佐藤、大谷、藤田(飯野)山野邊、荻原、菅本、松本、關内

起債決る 工業學校

建設の縣への寄附金十萬圓は簡保並に大藏省預金部から十八年間四分一厘の利子で借受けに決定した

經濟更生 特別助成村指定
郡下では大野村有力

大野村は昭和九年經濟更生村として指定を受けて以來擧村一致理想鄕建設に邁進した甲斐あつて縣下優秀村として折紙をつけられ、縣が十五年度に指定する特別助成五ケ村のうちでも最有力の候補に數へられてゐるので二十七日經濟更生課成島技師が來郡特別助成指定を前にして實地調査を行つた

この指定を受ければ年額一萬五千餘圓の補助金により一層農村經營の改善が出來るものである

献金

湯本町西洋料理組合では佐藤鶴治氏を代表として金三十圓を國防費として平署へ寄託した

0

內郷村小島警防團員青木宰治さんは金十圓を平署を通じ國防費に獻納した

0

市內一丁目平野鐵之助氏は金十二圓を恤兵金として市役所へ

創立早くも十周年
片倉製糸で記念式

市內片倉磐城製糸株式會社では來る三十一日午前九時から同市公會堂に第九回特約組合表彰式、昭和十五年度蠶業對策打合會、特約各組合長會議、會社創立二十年、磐城工場開設十週年の記念式を擧行するが當日の來賓約四百名餘興演藝あり盛會を豫想される

五言述懐 川村計

山岡平穩地
不復免離憂
翠碧何曾久
都塵逐日稠

不良飲もの狩り
花時を前にして 平署、取締方法考究

平署では左黨を惱ましてゐた水割酒に科學的メスを揮つて來たがいよ／＼花見時が近づいて來たので今度は水割酒に代つて原料不足等から各種飲食物にもその日る限りの代用品が現はれるものと豫想し來月早々から全署員を督勵し不良飲食物の嚴重取締りを行ふ事となり目下取締り方法を考究中

手長運搬夫 磐崎村

長倉坑運搬夫某(二九)は去る十五日午前十時頃同係川ト集錢の現金三十圓を盜んだ外錢府現金等百餘圓分を十餘回に亘つて盜み平署に檢擧された

○○○○○○ 遺家族相談人會

市では二十八日軍人遺家族相談人會を開き、また二十九日は市内軍人遺家族の定期懇談

平署行政主任更迭
警察官異動發令さる

羽賀、三浦兩警部補の講習所入りなどに伴ふ本縣警察官異動は昨二十七日發令されたが地方關係左の如し

新 舊 警部補
平 郡山 齋藤辨明
郡山 平 古山博満
巡査部長
平 土屋留藏
警防 四倉 佐藤富三
任警部補(各通)
巡査部長
平 須賀川 丹治三郎
巡査
原町 四倉 紺野吉三郎
四倉 若松 折笠一正
平 竹高 生江信亮
植田 棚倉 海老原榮喜
四倉 二本松 近藤吉藏
命巡査部長(各通)

0

榮轉の平署行政主任警部補古山博満氏は三十日午前十一時十分發で赴任する

陣中を聽く
(734)

出動以來待望した 沸かさずにのめる水
入山從業員 長谷川勝次君(信通)

當地中支は毎日暖かい晴天つゝきで御座います。然し野邊の草や霜枯れ楊柳の葉はもはや落ちつくして全く荒涼たる冬景色です。次に小生もお陰様にて軍務に服して居ります故何卒御安心の程御願申上げます。昨日戰友と共に廬山に登攀たしました、快い冬晴の日でありました石ばかりの險阻な山路をどこまでもつゞく險しい山路一歩踏み外せば千仭の谷間へ眞逆樣身は粉微塵となることでせう、山の小さな流れは氷砂糖の樣に眞白に凍つて居りました登ること三時間山の頂き近き所占嶺の町はあらゆる近代の粹を集めて劃然と展けて居ます道路は舗裝せられて塵一つ留めず樹木は鬱蒼と茂り水晶を溶かした樣な清き流れはサラ／＼と流れ其處には雅びた橋が架せられてあります。外人の三々五々の漫ろ歩き教會からは靜かな讃美歌のメロデーが流れて參ります、然し軒と軒との間を覗き見る時其處よりは下界が夢の樣に展開して一條の大揚子江は帶の樣に市を貫き森や部落が點綴して丁度地圖を擴げて見る感じとかわりありません地平線は范洋として見はます、雲は脚下を掠めて悠々去來いたします。出征以來憧れた沸かさずに飲める水はこの廬山に於てのみ味ふ事が出來ます。

廬山會議で有名な官學校にも行て見ました、實に豪壯華麗目覺めるばかりの建物です今は我警備隊が屯して居り劉喨たる喇叭の音がそこから響いて參ります彼方の嶺にも此方の谿間にも發溂な外人の別莊が點々散在し全く桃源境といふ感に迫られます、今は眞壺でも○度を下る幾度の寒さをすが陽春花笑ひ鳥唄ふ頃は如何ばかり杖曳く人の多きかとつく／＼感じました、然し此處を占領するまでの我軍の辛苦は如何に大なりしかは遠近に建てられた○○墓標に依つて窺知するで充分です。頂丁にあること三時間下山の途につきました石ころばかりの道に痛くなつた足を引摺つて歸りました

拈華微笑

苦闘四日の成果を秘めて各中等校の入學考査終る血と膏の尊い集約だ

□

時代の脚光を浴びて大陸に躍る太田文雄氏、根が入山出身丈け聞くだに痛快だ。

□

片倉の記念式、縣電氣協會の集り、非常時乍ら今年も漸く春氣さして來た

□

吉田氏の身代り献金。盡忠報國に之の手もあるを示す好いお手本

□

祝融子の跳梁。この風では何時になつたら高枕安臥出來るか

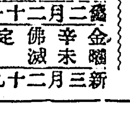
平市弔慶錄

○婚姻 岐阜縣不破郡合原村室原五一二川地二郎氏(三二)と古鍛冶町九二石井トメ子さん(二八)、磐崎村藤原字別所一四大井川一雄氏(三二)と中平窪字細田二七鈴栗スミさん(二八)、千葉縣千葉市本千葉町八二新井道德氏(三〇)と長橋町三六鈴木きみさん(二九)

▲死亡 本籍新川町二二神奈川縣横須賀市田浦一〇六九渡邊初江さん(三二)

二十九日 〔小名濱測候所觀測〕
滿潮 前九、〇五 後六、五五
干潮 前〇、五〇 後一、五〇

新三月二十九日 金曜
舊二月二十一日 辛未 佛滅 定 亢宿



▲一白 氣ないら立てゝ益々身のつまりを生ずる險難日▲二黑 不如意なかこたず定業に勉むれば次第に發展▲三碧 一氣に事を企て雄飛せんとして大失策あり▲四綠 吉なるに心ゆるして追々と窮迫に陷るべし▲五黃 安心に過ぎて緊張を欠き首尾全からざる日▲六白 巫術を頂ふとも急がず進めば還路も離無し▲七赤 きべんをろうせず眞面目に人との交りを結び吉▲八白 希望計畫を捨て職業に勵まるゝが安全の道▲九紫 勢力絕りんにして大望なも達し得べき幸通日

天氣豫報 小名濱測候所觀測

今晩 北東の風一時曇
明日 同

能率が上る ムツソリーニペン
さびない、書きよい、もちがよい、三拍子揃ひの此のムツソリーニを吾が親愛なる事務家諸兄の机下に贈る
平市楢小路 代理店 魁文堂 電話313番

磐城名物 靈峰羊羹
小川郷驛前 平屋賣店

病室・手術室完備
産科 婦人科 醫學博士 五十嵐雄二
(物理療法科併置) 〔入院隨時〕
平市新川町(電話三六九番)

募集
貨物自動車助手 一名
年齡十八才ヨリ三十才迄給月四十五圓以上
至急雇入タシ
平市仲町十四 喜美山炭礦 鈴木營業所 平公會堂前

毎度有難う御座います。
パン食普及の時代！
自慢の食パン 斤二十錢
榮養パン バターロール
甘コッペ チヨコレートロール
野菜サラダパン クリームロール
カレーパン・カツパン・榮パン
ベーカリー 東京堂 平市楢小路〔電話一〇八番〕

世界的發明！
誠に讀めば、誰も百歲以上ながいき出來る本
人生の栞(靈言集)
ポケット型 五百八十頁 五千七百三十二句 集錄
普及定價 五十錢
これは珍しい、すばらしいと目下、大評判賣行き。速刻書店へ！
平市特約店 四丁目マルトモ 柴田書店
發行所 東亞報國社

西村屋藥局
電話三番です
藥品百貨と
寫眞機材料の店です
平市本町二丁目 西村屋藥局